

報道関係者各位

2013年4月1日

アットホーム株式会社

トレンド調査 — 都内勤務の20～50代営業職サラリーマンに聞く、タクシー代と住まいに関する調査 —

月1回以上タクシーを利用する人は約2割、月額平均13,126円 月額が最も高いのは「通勤時間60分以上75分未満」の人 住まい選びの際にタクシー代を考慮した人は1割未満

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛)は、東京都内に勤務する20～50代の営業職サラリーマン600名を対象に、“タクシー代と住まいに関するアンケート”調査を実施いたしました。その結果をご案内いたします。

<主な調査結果>

◆会社からの帰宅時などに月1回以上タクシーを利用する人 21.4%、月額平均13,126円

そのうちの45～59歳の方にバブル期はどうだったかを聞いたところ、利用していた人は42.2%、利用額は平均34,201円となり、やはりバブル期は現在よりもタクシー利用が多かったようです。

◆タクシーを使う理由1位「飲み会で終電を逃した」42.7%、2位「仕事で終電を逃した」25.8%

◆残業・接待後のタクシー代は「経費で落とせない」55.5%

残業や接待飲みなど、仕事や会社都合でのタクシー代が「経費で落とせない」という人は半数以上にのぼりました。

◆タクシー利用額が最も高いのは、「通勤時間60分以上75分未満」の人で、月額平均19,501円

タクシー利用者を通勤時間別にみたところ、一カ月の利用回数が最も多いのは「30分未満」の人で平均10.4回。30分以上では通勤時間がかかるほど利用額は増加しています。さらに75分以上になると利用額は減少していることから、長距離の利用は避け、途中駅もしくは自宅最寄り駅と自宅間などで利用していると考えられます。

◆住まい選びの際にタクシー代を考慮したことがある人 7.7%

住まい選びでタクシー代を考慮した人は1割未満とごくわずかでした。

<調査概要>

◆対象/1都3県在住、東京都内勤務の20～50代営業職のサラリーマン。各世代150名 計600名。

◆調査方法/インターネットリサーチ

◆調査期間/2013年2月22日(金)～3月1日(金)

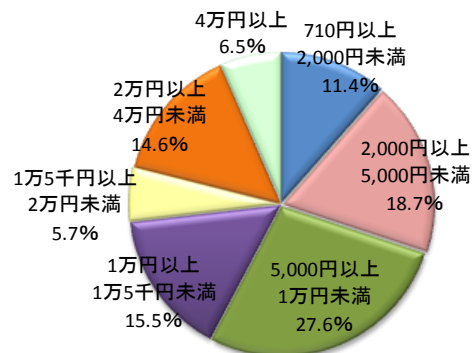
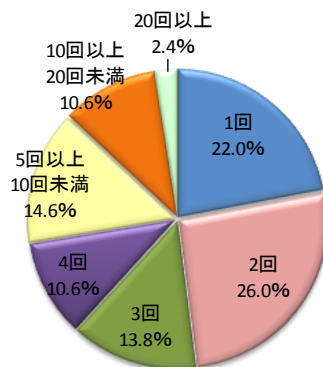
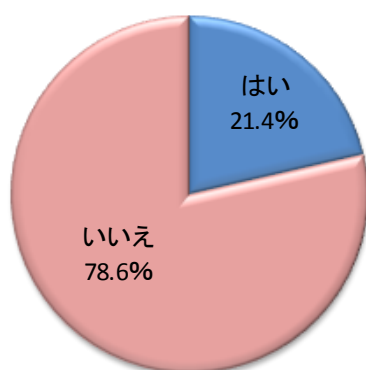
<調査結果>

■ 会社からの帰宅時などに月1回以上タクシーを利用する人は21.4% 月額平均13,126円、そのうち自腹額は9,045円。バブル期に比べて激減

Q. 会社からの帰宅時などに、月に1回以上タクシーを利用することがありますか。

(対象:600名、有効回答:575名)

◇1カ月の回数と利用額 (対象:利用者123名)



平均回数 : 4.4 回

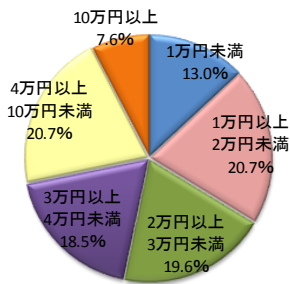
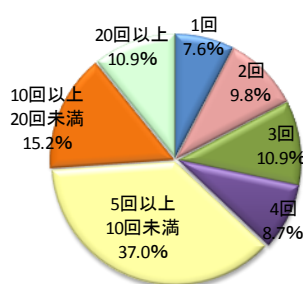
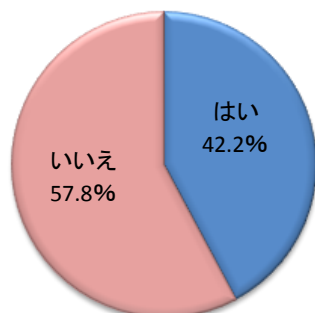
平均利用額 : 13,126 円

平均自腹額 : 9,045 円

Q. バブル期(1986年~1991年頃)に、月に1回以上タクシーを利用していましたか。

(対象:45~59歳218名)

◇1カ月の回数と利用月額 (対象:利用者92名)



平均回数 : 7.7 回

平均利用額 : 34,201 円

平均自腹額 : 15,693 円

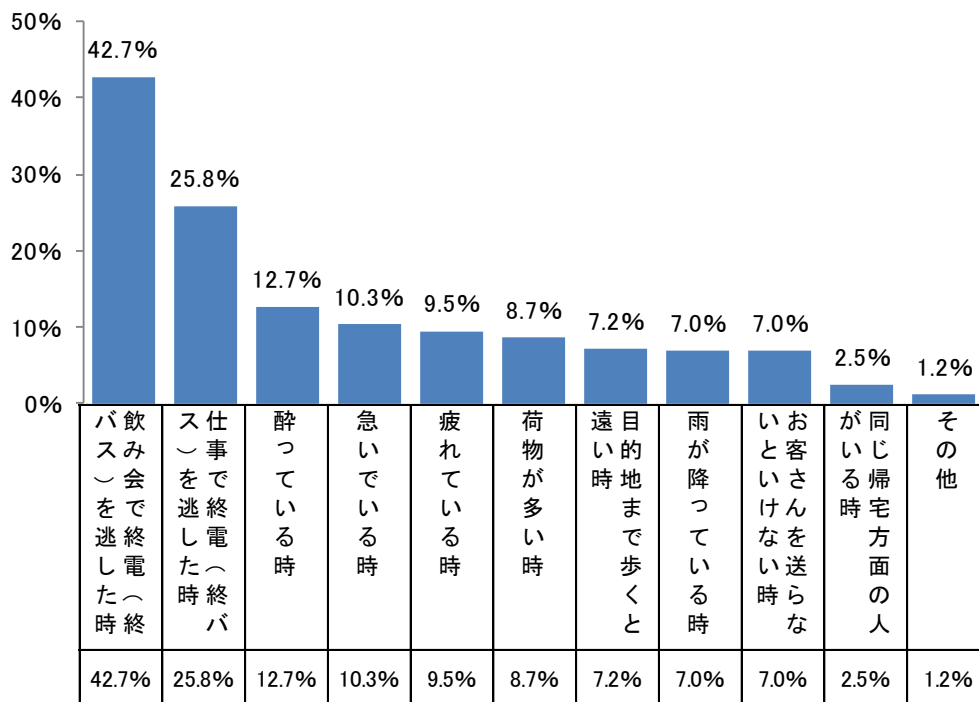
会社からの帰宅時などに、月に1回以上タクシーを利用する人は21.4%で、8割近くの方はほとんどタクシーを利用していないことが分かりました。

タクシー利用者の1カ月の利用回数は「2回」が最も多く26.0%で、平均4.4回、利用額は「5,000円以上1万円未満」が最も多く27.6%で、平均13,126円でした。また、タクシー代のうち、経費ではなく自腹で支払っている額は、平均9,045円となりました。

さらに、45~59歳の方にバブル期のタクシー利用を聞いたところ、月に1回以上利用していた人は42.2%と現在のほぼ2倍。1カ月の利用回数は平均7.7回、利用額は平均34,201円となり、やはりバブル期は現在よりもタクシー利用が多かったようです。

■タクシーを使う理由 1位「飲み会で終電（終バス）を逃した時」42.7%
次いで、「仕事で終電（終バス）を逃した時」が25.8%

Q. タクシーを利用する理由で、当てはまるものを、3つまでお選びください。（対象：600名）

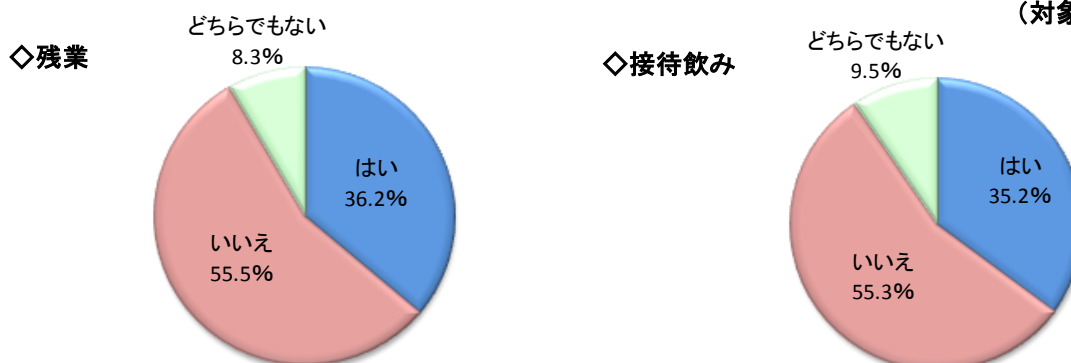


タクシーを使う理由として当てはまるものを選んでもらったところ、「飲み会で終電（終バス）を逃した時」が42.7%で1位。次いで、「仕事で終電（終バス）を逃した時」が25.8%と、4人に1人が深夜残業を理由に挙げています。ちなみに、「どんな理由があってもタクシーは利用しない」と回答した人は29.8%でした。

■残業や接待飲みで終電を逃しても、タクシー代を経費で落とせない人、半数以上。

Q. 残業／接待飲みで終電（バス）を逃し、タクシーで帰宅した場合、タクシー代は会社の経費で落とせますか？

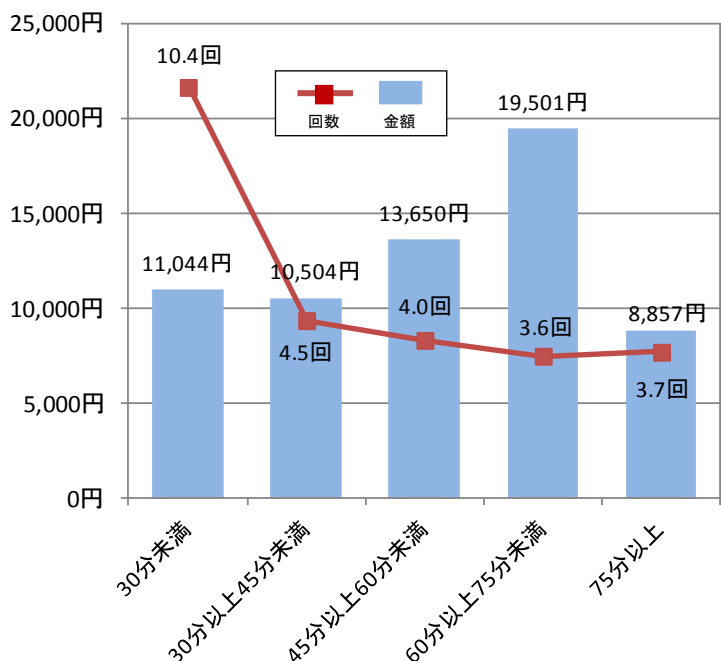
（対象：600名）



残業や接待飲みという、いわば仕事の都合で終電を逃してタクシーを利用した際に、そのタクシー代を会社の経費で落とせるか聞いたところ、どちらも「落とせる」と回答した人は4割以下となり、半数以上の人は経費で落とせないということが分かりました。

■最もタクシー代が高いのは「通勤時間 60 分以上 75 分未満」の人、月額平均 19,501 円

◇通勤時間別にみた 1 カ月の利用回数と利用金額(対象:利用者 123 名)



通勤時間	人数	利用月額の平均	利用回数の平均
30分未満	8名	11,044円	10.4回
30分以上45分未満	30名	10,504円	4.5回
45分以上60分未満	28名	13,650円	4.0回
60分以上75分未満	31名	19,501円	3.6回
75分以上	26名	8,857円	3.7回

P2で「月 1 回以上タクシーを利用する」と回答した 123 名を通勤時間別にみたところ、1 カ月の利用回数が最も多いのは「30 分未満」の人で平均 10.4 回、利用額は平均 11,044 円でした。

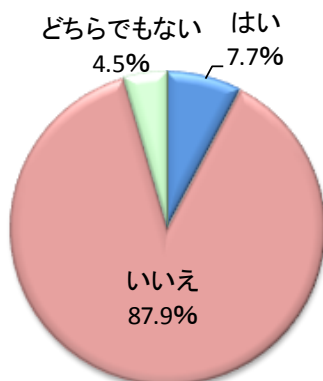
一カ月の利用額が最も多いのは「60 分以上 75 分未満」の人で、平均 19,501 円。回数は平均 3.6 回と、「30 分未満」の人の約 3 分の 1 であるのに対し、利用額は 2 倍近くとなっています。

30 分以上から 75 分未満までは、通勤時間が長いほど、利用額は増加。「75 分以上」では、回数はほぼ横ばいなのに対して利用額が減少していることから、会社から自宅までは相当な料金がかかるので、途中駅もしくは自宅最寄り駅から自宅までなど、短距離で利用していると考えられます。

■住まい選びの際、タクシー代を考慮したことがある人は 1 割未満

Q. 住まい選びの際、「自宅⇄会社」のタクシー代を考慮したことはありますか？

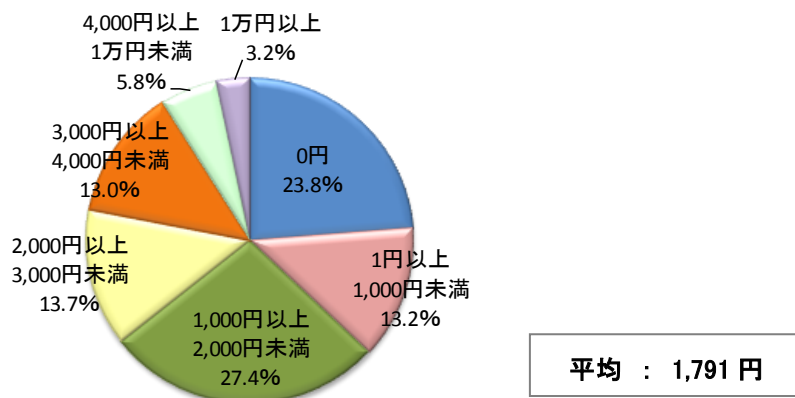
(対象:住まい選びをしたことがある人 404 名)



住まい選びをしたことがある人に、自宅と会社間のタクシー代を考慮して住まい選びをしたことがあるかを聞いたところ、「ある」と回答した人は 7.7%で、1 割に満たない結果となりました。

■ 頻繁にタクシーを使ってもいいと思える額は、平均 1,791 円

Q. タクシーを頻繁に使ってもいいと思える額は、1 回につき、いくらですか？(対象:600 名)



それでは、タクシーを頻繁に使ってもいいと思える金額はいくらなのでしょう。調査したところ、「1,000 円以上 2,000 円未満」が 27.4%で最も多く、平均は 1,791 円となりました。ただし、「0 円」との回答が 23.8%を占めており、4 人に 1 人は「タクシーにはお金をかけたくない」と考えているようです。

<調査対象者情報>

◇居住地

東京都	58.0%
神奈川県	17.3%
埼玉県	11.5%
千葉県	13.2%

◇婚姻状況

未婚	33.5%
既婚	66.5%

◇子供の有無

子供 有	51.8%
子供 無	48.2%

◇住宅タイプ

持ち家	一戸建て	35.8%
	マンション	25.7%
賃貸	一戸建て	1.7%
	マンション	26.0%
	アパート	10.8%

◇賃貸 家賃月額

平均(214名)	89,107円
----------	---------

◇持ち家 購入価格

平均(322名)	3858.6万円
----------	----------

◇通勤時間分布

30分未満	11.5%
30分以上45分未満	23.2%
45分以上60分未満	17.7%
60分以上75分未満	28.2%
75分以上90分未満	5.3%
90分以上	14.2%

◇お小遣い(1 カ月間自由に使える額)

お小遣い月額 平均	49,255円
-----------	---------

◇通勤時間

通勤時間 平均	53.72分
---------	--------